

第3回万葉集を活用した授業づくりセミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 平成29年10月29日(日) 15時～17時
- ◇会場 次世代教員養成センター会議室
- ◇参加者 石原(富雄第三小中)、中澤(平群北小)、石田(済美小)、新宮(平城小)、北村(御所市教育委員)、中澤(奈良教育大)

◇内容：授業構想及び指導案の検討

1. 『いにしへの心』をカードの詰め、万葉集マップをつくり自分の考えを発信しよう

奈良市立済美小学校 石田先生

当初案

奈良市に万葉歌碑が55カ所ある。41人の児童(6年生)に一人1つずつ担当させ、歌碑の写真と共に、解説書(複数)より、選択した歌の解説や自分感想などを記したカードを作成し、観光客に配付する。何か、役に立つようなことにつなげたい(観光おもてなし)。得意に子も苦手な子もいる。グループでの作成にすると、得意な子に任せてしまいがち。全員に取り組みせたいので、一人一つ以上(55あるので)に取り組みせたい。



- ・6年生の万葉集の学習が完結するというよりは、古典に親しむことを主眼に、中学校でまた勉強したくなるようなオープンエンドであっていい。
- ・カルタにして(百人一首)楽しむ
- ・解説書を引き写したカードを作っても観光客は見てくれない。
- ・カルタを作るときに成立する国語の学びは何か。裏面に選んだ理由を書かせる
- ・万葉集の時代は、音声の時代なので、何回も読んで五感や音を楽しむことを主眼にしてはどうか。
- ・双六にしてもいい。
- ・目付絵にしてもいい。
- ・子どもに歌碑の写真を撮りに行くよう伝え、歌碑に移りこんで撮影し、それをカルタに使う。
- ・歌碑だけのもの(坊主)、男の子と歌碑(殿)、女の子と歌碑(姫)で坊主めぐりもできる。
- ・お正月に家族で万葉集で遊ぶのもいい。印刷(モノクロ・色つけは児童)は大学が援助できる。



改善案：万葉歌碑のカルタづくり

- ・歌碑の写真(児童が映り込んでいてもいい)が取り札。
- 裏面に、その歌を選択した理由、感想、解説などを記す
- ・読み札は、万葉歌

2. 小学校の古典の授業：奈良市立富雄第三小中学校 石原校長先生



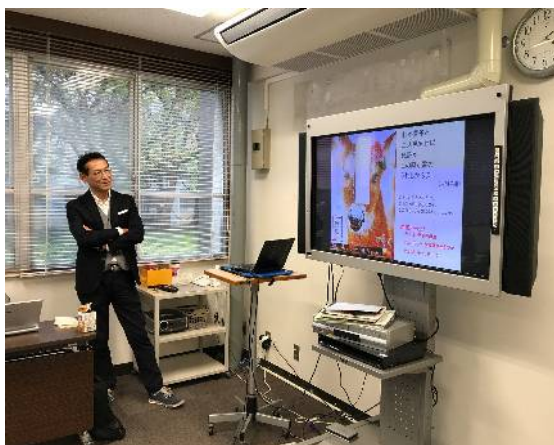
パロディ百人一首：一部を書き換えてパロディにする。
【超訳「万葉集」】

恋ひ恋ひて逢へる時だに愛うつくしき言こと尽くして
よ長くと思はば (万 4-661 大伴坂上郎女)

【通釈】恋して恋して、やっと逢えた時くらい、情け深い言葉をありったけ言い尽くして下さいな。これからも二人の仲を長く続けようと思うなら。

- (1) 題材は万葉集
- (2) 超訳のポイント
 - ①発想の転換
 - ②使う言葉
 - ③キャッチーに
- (3) 鹿の写真を使って作品化
- (4) 言葉で加工も可
 - ①花簪の代わりに“言葉で一言”も可
 - ②(と、〇〇が詠まれました)のアレンジ可
- (5) 発表のための作文を

ヤバいほど好きよ (ポスター) 大伴坂上郎女
キャッチコピー化
たくさん読むことをめあてに
訳のついた万葉集の解説書を準備する



3. 短歌で楽しもう「まるで暗号?!言葉遊びで短歌にちょうせん」

平群町立平群北小学校 中澤哲先生

- 一次：短歌を知る
- 二次：万葉集の言葉遊び
- 三次：短歌を作る

ランダムにつくった短歌を詠みリズム感を楽しむ
簡単に作りことができる←万葉集への抵抗をなくす
言葉遊びを取り入れて短歌を作る

4. その名もゆかし わが平城 奈良市立平城小学校 新宮先生

平城宮跡資料館を遠足で訪れ、平城京の暮らしについてインタビューした

「青丹よし 寧楽の京師 (みやこ) は咲く花の 薫ふがごとく 今盛りなり」を校歌とどのようにつなげるか

・導入としての万葉集の活用。今後は、平城小学校区にしぼって、「ゆかし」の具体を見つけていく。その際、高齢者などにインタビュー活動を行い、現在だけでなく過去の「ゆかし」を聞き取ることで、過去と現在の「ゆかし」から、未来の「ゆかし」づくりに取り組ませることで、ESDとなる。